

2020 年度 理事会：議事録

日 時：2020 年 7 月 31 日（金）

場 所：オンライン会議（オンデマンド・メール会議）

出席者：藤田主一（理事長）、古屋健（副理事長）、
阿南あゆみ、伊坂裕子、いとうたけひこ、
伊藤令枝、浮谷秀一、臼井伸之介、角山剛、
上瀬由美子、軽部幸浩、川本利恵子、
来田宣幸、北川公路、木村友昭、桐生正幸、
小林剛史、沢宮容子、篠原一光、大坊郁夫、
田中真介、谷口淳一、時田学、外島裕、
内藤哲雄、中井宏、永田陽子、深澤伸幸、
星薫、松田浩平、向井希宏、森脇保彦、
八木善彦、山本勝則、蓮花一己（以上、理事）

加藤博己、堀洋元（以上、監事）

事務局：外島裕（事務局長）、

軽部幸浩、時田学（以上、幹事）

（敬称略、五十音順）

理事長挨拶

- ・理事長より、オンライン会議の開催について先生方へ感謝の言葉が述べられた。

I 報告事項

1. 事業報告

- (1) 会員の異動および会費納入状況（外島裕事務局長）

- ・2020 年 8 月 7 日現在の会員数は、一般会員（1,005 名）、院生会員（62 名）、学生会員（3 名）、名誉会員（32 名）、終身会員（47 名）、賛助会員（2 名）の合計 1,151 名で、2019 年度に対する会員減少は 3 名であった。
- ・2016 年度から 2020 年度の会費納入状況についての説明があった。

- (2) 各委員会報告

- 1) 機関誌編集委員会（軽部幸浩委員長）
 - ・2019 年 7 月から 2020 年 6 月までの投稿数は、原著論文 14 本、資料論文 16 本、

実践報告 1 本、短報論文 12 本の合計 43 本であった。

- 2) 企画委員会（臼井伸之介委員長）
 - ・第 86 回大会の学会研修会が報告された。
 - ・2019 年度公開シンポジウムが報告された。
 - ・2020 年度の活動計画が報告された。
- 3) 広報委員会（田中真介委員長）
 - ・『応用心理学のクロスロード Vol. 12』の作成報告がされた。
 - ・『応用心理学のクロスロード Vol. 13』についての委員会での意見公開の内容について作成報告がされた。
- 4) 「応用心理士」認定審査委員会（川本利恵子委員長）
 - ・2020 年度前期申請者は 5 名であり、現在認定手続き中であると報告された。
- 5) 国際交流委員会（角山剛委員長）
 - ・英文特集号の投稿は、原著論文 3 本、資料論文 2 本の合計 5 本であった。印刷所への入稿が終わり、発行準備が進んでいるとの報告があった。
- 6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）
 - ・審議事項で取り上げる。
- 7) 学会活性・研究支援委員会（古屋健委員長）
 - ・第 86 回大会優秀大会発表賞の選考結果についての報告があった。
 - ・2020 年度学会賞について報告があった。
- 8) 倫理委員会（古屋健副理事長）
 - ・特になし。
- 9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（外島裕委員長）
 - ・大橋信夫氏著『海で働き、海で生きる ―心理学者が観察した外航船乗務員の労働と生活―』（福村出版、2020 年 3 月 5 日発行）が選考された。
- 10) 学会史編集委員会（藤田主一理事長）
 - ・名誉会員のインタビューを企画し、インタビューの文字おこしを進めている。

2. 一般社団法人日本心理学諸学会連合について (外島裕担当常任理事)
 - ・2019 年度第 2 回社員総会, 2020 年度第 1 回社員総会の内容が報告された。
3. 心理学検定について (小林剛史心理学検定局常任運営委員)
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から, 令和 2 年 8 月 23 日 (日) に実施を予定していた第 13 回心理学検定は中止することを決定した。第 14 回心理学検定の実施については現在協議中であると報告があった。
4. 2019 年度第 86 回大会について (外島裕大会委員長)
 - ・決算書の報告があった。
5. 代替措置について (藤田主一理事長)
 - ・7 月 10 日 (金) の消印で, 全会員宛に「第 87 回大会中止に伴う代替措置について」のはがきを郵送した。
 - ・代替措置に伴う申込締切日, ならびに投稿締切日は 9 月末である。
6. 年会費の振込方法について (外島裕事務局長)
 - ・従来の「振替」と「自動引落」の 2 種類になった。
7. 『応用心理学ハンドブック』について (藤田主一理事長)
 - ・本年内の発行を目指して編集作業を進めている。
8. 理事・監事選挙について (外島裕選挙管理委員長)
 - ・「理事・監事選挙」のスケジュールについて, 説明があった。
9. 名誉会員の推挙について (藤田主一理事長)
 - ・外島裕氏を名誉会員に推挙したが, 本人から本年度の受諾の辞退があった。
10. その他
 - ・特になし。

II 審議事項

1. 2019 年度決算に関する件 (外島裕事務局長)
 - ・2019 年度決算書が開示され, 審議の結果, 承認された。
2. 2020 年度予算に関する件 (外島裕事務局長)
 - ・2020 年度予算が開示され, 審議の結果, 承

認された。

3. 機関誌投稿・編集規程に関する件 (軽部幸浩機関誌編集委員長)
 - ・改訂案が開示され, 審議の結果, 承認された。
4. 機関誌執筆要領に関する件 (軽部幸浩機関誌編集委員長)
 - ・改訂案が開示され, 審議の結果, 承認された。
5. 機関誌投稿倫理規程に関する件 (軽部幸浩機関誌編集委員長)
 - ・新規程案が開示され, 審議の結果, 承認された。
6. 会則改定に関する件 (藤田主一理事長)
 - ・終身会員に関して, 現行の「満 71 歳」を「満 70 歳」に改訂する提案があり, 審議の結果, 承認された。
7. 終身会員規程に関する件 (藤田主一理事長)
 - ・新規程案が開示され, 審議の結果, 承認された。
8. 2022 年度第 88 回大会 (大会当番機関) に関する件 (藤田主一理事長)
 - ・京都工芸繊維大学に大会開催を依頼する提案があり, 審議の結果, 承認された。

III 2021 年度第 87 回大会委員長挨拶 (松田浩平大会委員長)

大会委員長の松田浩平氏 (東北文京大学) から大会開催についての挨拶があった。

以上

2020 年度 総会：議事録

日 時：2020 年 7 月 31 日 (金)

場 所：オンライン会議 (オンデマンド・メール会議)

出席者：907 名 (メールニュースの配信数)

I 理事長挨拶

- ・理事長より, オンライン会議の開催について先生方へ感謝の言葉が述べられた。

II 報告事項

1. 事業報告

(1) 会員の異動および会費納入状況(外島裕事務局長)

- ・2020年8月7日現在の会員数は、一般会員(1,005名)、院生会員(62名)、学生会員(3名)、名誉会員(32名)、終身会員(47名)、賛助会員(2名)の合計1,151名で、2019年度に対する会員減少は3名であった。
- ・2016年度から2020年度の会費納入状況についての説明があった。

(2) 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会(軽部幸浩委員長)

- ・2019年7月から2020年6月までの投稿数は、原著論文14本、資料論文16本、実践報告1本、短報論文12本の合計43本であった。

2) 企画委員会(臼井伸之介委員長)

- ・第86回大会の学会研修会が報告された。
- ・2019年度公開シンポジウムが報告された。
- ・2020年度の活動計画が報告された。

3) 広報委員会(田中真介委員長)

- ・『応用心理学のクロスロード Vol. 12』の作成報告がされた。
- ・『応用心理学のクロスロード Vol. 13』についての委員会での意見公開の内容について作成報告がされた。

4) 「応用心理士」認定審査委員会(川本利恵子委員長)

- ・2020年度前期申請者は5名であり、現在認定手続き中であると報告された。

5) 国際交流委員会(角山剛委員長)

- ・英文特集号の投稿は、原著論文5本、資料論文2本の合計5本であった。印刷所への入稿が終わり、発行準備が進んでいるとの報告があった。

6) 学会賞選考委員会(優秀大会発表賞を含む)(木村友昭委員長)

- ・審議事項で取り上げる。

7) 学会活性・研究支援委員会(古屋健委員長)

- ・第86回大会優秀大会発表賞の選考結果についての報告があった。

- ・2020年度学会賞について報告があった。

8) 倫理委員会(古屋健副理事長)

- ・特になし。

9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会(外島裕委員長)

- ・大橋信夫氏著『海で働き、海で生きる—心理学者が観察した外航船乗務員の労働と生活—』(福村出版、2020年3月5日発行)が選考された。

10) 学会史編纂委員会(藤田圭一理事長)

- ・名誉会員のインタビューを企画し、インタビューの文字おこしを進めている。

2. 一般社団法人日本心理学諸学会連合について(外島裕担当常任理事)

- ・2019年度第2回社員総会、2020年度第1回社員総会の内容が報告された。

3. 心理学検定について(小林剛史心理学検定局常任運営委員)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年8月23日(日)に実施を予定していた第13回心理学検定は中止することを決定した。第14回心理学検定開催については現在協議中であると報告があった。

4. 2019年度第86回大会について

- ・決算書の報告がされた。

5. 代替措置について(藤田圭一理事長)

- ・7月10日(金)の消印で、全会員宛に「第87回大会中止に伴う代替措置について」のはがきを郵送した。
- ・代替措置に伴う申込締切日、ならびに投稿締切日は9月末である。

6. 年会費の振込方法について(外島裕事務局長)

- ・従来の「振替」と「自動引落」の2種類になりました。

7. 『応用心理学ハンドブック』について(藤田圭一理事長)

- ・本年内の発行を目指して編集作業を進めている。

8. 理事・監事選挙について(外島裕選挙管理委員長)

- ・「理事・監事選挙」についてスケジュールの

説明があった。

- 9 名誉会員の推挙について（藤田主一理事長）
 - ・外島裕氏を名誉会員に推挙したが、本人から本年度の受諾の辞退があった。
- 10 その他
 - ・特になし。

II 審議事項

1. 2019 年度決算に関する件（外島裕事務局長）
 - ・2019 年度決算書が開示され、審議の結果、承認された。
2. 2020 年度予算に関する件（外島裕事務局長）
 - ・2020 年度予算が開示され、審議の結果、承認された。
3. 機関誌投稿・編集規程に関する件（軽部幸浩機関誌編集委員長）
 - ・改訂案が開示され、審議の結果、承認された。
4. 機関誌執筆要領に関する件（軽部幸浩機関誌編集委員長）
 - ・改訂案が開示され、審議の結果、承認された。
5. 機関誌投稿倫理規程に関する件（軽部幸浩機関誌編集委員長）
 - ・新規案が開示され、審議の結果、承認された。
6. 会則改定に関する件（藤田主一理事長）
 - ・終身会員に関して、現行の「満 71 歳」を「満 70 歳」に改訂する提案があり、審議の結果、承認された。
7. 終身会員規程に関する件（藤田主一理事長）
 - ・新規案が開示され、審議の結果、承認された。
8. 2022 年度第 88 回大会（大会当番機関）に関する件（藤田主一理事長）
 - ・京都工芸繊維大学に大会開催を依頼する提案がなされ、審議の結果、承認された。

IV 表彰

- 1 学会賞（藤田主一理事長）
- 2 若手会員研究奨励賞（藤田主一理事長）
- 3 齊藤勇記念出版賞（藤田主一理事長）

V 2021 年度第 87 回大会委員長挨拶（松田浩平大会委員長）

大会委員長の松田浩平氏（東北文京大学）から大会開催についての挨拶があった。

以上

2020 年度 第 3 回常任理事会：議事録

日 時：2020 年 10 月 1 日（木）

場 所：オンライン会議（オンデマンド・メール会議）

出席者：藤田主一（理事長）、古屋健（副理事長）、
白井伸之介、角山剛、上瀬由美子、
軽部幸浩、川本利恵子、木村友昭、
田中真介、外島裕（以上、常任理事）
小林剛史（心理学検定局常任運営委員）

事務局：外島裕（事務局長）、

軽部幸浩、時田学（以上、幹事）

（敬称略、五十音順）

I 報告事項

1. 理事長挨拶

・理事長より、オンライン会議の開催について先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会（軽部幸浩委員長）

・2018 年 7 月からの投稿論文については、原著論文 34 本、資料論文 25 本、実践報告 3 本、短報論文 23 本の計 85 本であった。

・『機関誌』の投稿・編集規程、執筆要領、投稿倫理規程は 2020 年総会にて承認され、すでに学会ホームページにその内容が掲載されている。

2) 企画委員会（白井伸之介委員長）

・2020 年度の「公開シンポジウム」については、審議事項として扱う。

3) 広報委員会（田中真介委員長）

・『応用心理学のクロスロード Vol. 13』作成のスケジュールが説明された。

・『応用心理学のクロスロード Vol. 13』の新しい企画（案）が紹介された。

4) 「応用心理士」認定審査委員会（川本利恵子

委員長)

・特になし。

5) 国際交流委員会 (角山剛委員長)

・第46巻ICAP英文論文特集号(原著3編, 資料2編)を7月付で刊行し, 機関誌第46巻第1号と共に会員に送付した。

6) 学会賞選考委員会(優秀大会発表賞を含む)
(木村友昭委員長)

・特になし。

7) 学会活性・研究支援委員会(古屋健委員長)

・特になし。

8) 倫理委員会(古屋健副理事長)

・倫理審査に関係した投稿論文についての報告があった。

9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会(外島裕委員長)

・特になし。

10) 学会史編纂委員会(藤田主一理事長)

・特になし。

3. 一般社団法人日本心理学諸学会連合について
(外島裕担当常任理事)

・特になし。

4. 心理学検定について(小林剛史心理学検定局常任運営委員)

・特になし。

5. 代替措置について(古屋健副理事長)

・「大会発表代替論文集」の巻頭言が紹介された。

6. 2020年度「理事会」「総会」について(藤田主一理事長)

・2020年度「理事会」(2020年8月11日), 「総会」(2020年8月29日)は, 無事に終了した。理事, 会員からの質問・意見は皆無であった。

7. 選挙管理委員会からの報告について(外島裕委員長)

・「理事・監事選挙」, 「常任理事選挙」, 「理事長・副理事長選挙」についてスケジュールの報告があった。

8. その他

・「応用心理士」の活動について, 山本勝則理事(「応用心理士」認定審査委員会副委員長)より意見と提案があった。

II 審議事項

1. 機関誌執筆要領の追加に関する件(軽部幸浩委員長)

・執筆要領について追加事項が提案され, 審議の結果, 承認された。

2. 2020年度「公開シンポジウム」中止に関する件(臼井伸之介委員長)

・新型コロナウイルス感染症の終息は予見できず, 対面で開催した場合の参加者の健康と安全を保障できないため, 本年度の公開シンポジウムを中止にしたいとの提案があり, 審議の結果, 承認された。

3. 会員異動に関する件(外島裕事務局長)

・審議の結果, 承認された。

・2020年9月28日現在の会員異動

➢入会者: 10名, 退会者: 9名, 会員合計: 1,151名である。

以上

2020年度 第4回常任理事会: 議事録

日 時: 2020年12月2日(水)

場 所: オンライン会議(オンデマンド・メール会議)

出席者: 藤田主一(理事長), 古屋健(副理事長), 臼井伸之介, 角山剛, 上瀬由美子, 軽部幸浩, 川本利恵子, 木村友昭, 田中真介, 外島裕(以上, 常任理事)

事務局: 外島裕(事務局長)

(敬称略, 五十音順)

I 報告事項

1. 理事長より

・理事長より, オンライン会議の開催について先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2. 理事・監事の選挙結果について(外島裕選挙管理委員長)

・選挙結果について, 有効投票者(164名), 無効投票者(14名)と報告があった。

3. その他

・日本学術会議「第25期新規会員任命拒否」に関して, 内閣総理大臣宛に「要望書」(11月6日付)を提出した。

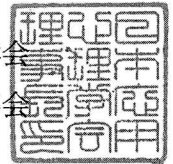
II 審議事項

1. 推薦理事候補者の件（藤田主一理事長）
 - ・理事長より推薦理事候補者 9 名の提案があり，審議の結果，承認された。

以上

2020 年 11 月 6 日

内閣総理大臣 菅 義偉 殿

日本応用心理学会
理事会

日本学術会議「第 25 期新規会員任命に関する要望書」(2020 年 10 月 2 日)
についてのお願い

現今、菅義偉内閣総理大臣におかれては、日本学術会議が新会員に推薦した 105 名のうち、人文・社会科学系の 6 名を任命することなく、またその理由の具体的かつ明確なご説明が未だ不十分ではないか、との報道がなされています。

すでに、日本学術会議より、日本学術会議第 181 総会として 2020 年 10 月 7 日付にて「第 25 期新規会員任命に関する要望書」が菅総理大臣宛に提出され、その中で任命されない理由の明示と速やかな任命の 2 点が求められている旨、表明されていると承知しております。

日本応用心理学会は、1949 年 1 月 22 日付「日本学術会議発足にあたっての科学者としての決意表明」の主旨を了解し、日本学術会議の協力学術研究団体として参加してまいりました。このことを踏まえ、今回の事態に対して、強い問題意識を抱いています。

本学会としまして、上記、日本学術会議からの「要望書」を支持するとともに、その要望をご理解賜り、速やかなる履行をここにお願い申し上げる次第です。

以 上

会員異動

(2020 年 10 月 1 日～2021 年 1 月 25 日の異動)

入会者

伊藤 一真	尾崎 大介	小林 諒子
沼 柊門	伴 碧	古澤 伸晃
堀内 聡	八木沢 誠	矢羽々紗枝
山内さつき	陸 英善	

(以上, 敬称略)

退会者 (希望退会)

木村 純	小嶋かおり	谷口 嘉男
浜橋 侑希		

(以上, 敬称略)

謹弔

名誉会員の高嶋正士氏 (1925 年 8 月 23 日～2021 年 2 月 13 日) が, ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。